

民主

PRESS MINSHU

2007年1月1日

号外

(北海道第1区総支部版)

民主党プレス民主編集部
〒100-0014
東京都千代田区永田町1-11-1
電話03-3595-9988 (代表)
http://www.dpj.or.jp

よこみち 孝弘

ネットワーク通信 No.31

新年号 2007年1月1日

横路孝弘連合後援会

〒060-0063 札幌市中央区南3条西12丁目 北海道教育会館3F
TEL (011) 561-4582 FAX (011) 551-4545

- この通信は通常、全戸配布をしています。
- 郵便振替 02710-3-2749

新年明けまして

おめでどうございませす。

衆議院副議長 横路 孝弘

一年経つのが年毎に早くなっていくように感じていますが、皆さん如何お過ごしでしょうか。

皆さんの中には、2006年はうれしい事が重なって良い一年だったという方も、いやいや悲しい事ばかりで大変だったという方もおられると思います。

しかし一年一年です。また新しい2007年、希望と夢をもって頑張っていこうではありませんか。現在の日本は、国家権力が強大になっていく一方、政府の公共的役割(教育や年金、医療など)は、

どんどん小さくなっています。庶民の負担は重くなり、金持ちの所得と資産は増大し、朝から夜遅くまで働いてもその収入で生活が苦しい人が増えて、貧富の格差が拡大しています。

日本の社会はもととお互いに協力的であり、やさしさや思いやりをもった社会だったのに、いまや攻撃的でイライラ・ギスギスした社会になってしまいました。とてもこんな日本の社会を孫達に残していく訳にはいきません。

私は、いままで皆様に訴え約束してきた考えを変えることなく、平和で希望に満ちた日本の国とするために、今年も決意新たに活動して行きたいと思ひます。

今年選挙の年です。アメリカでは民主党が勝利して、少しづつイラク政策なども変わりつつあります。選挙は大切です。どうぞ皆様のご支援をよろしくお願い致します。

皆様のご健康とご多幸をお祈り致します。



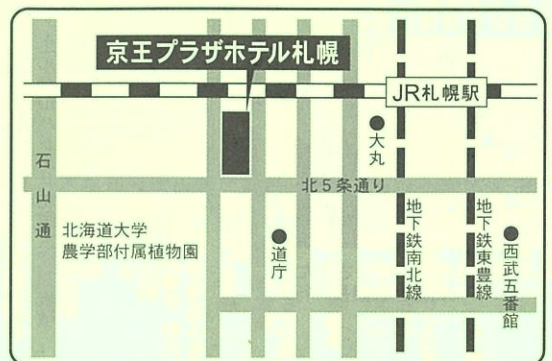
よこみちさんと新年を語る 新年交礼会のお知らせ

【とき】2007年1月13日(土) 午前11時30分より

【ところ】京王プラザホテル札幌 2F「エミネンスホール」
(札幌市中央区北5条西7丁目) TEL011-271-0111

【会費】3,000円(お問い合わせは、横路孝弘事務所 TEL 233-2331)

◎だれでも参加できる新年交礼会です。毎年楽しいイベントとよこみちトーク。
皆さんお誘い合せの上、平服でお気軽にお越し下さい。



SPECIAL

Q & A

安倍政権はどんな政権?

教えてよこみちさん!



と戦後の一番大きな違いですね。

Q それが又、国家第一になるのですか?

A 安倍さんは「戦後の日本は、戦争の原因と敗因の理由をただひたすら国家主義にあつたとし、その結果日本人の心に国家イコール悪」という方程式がビルトインされ、「戦後の国家観が教育のゆがみを生んだ」と主張されています。こうした考えをベースにすると、又、個人の人權より国家の価値に重きをおくことになりそうです。

Q 国家が若者を特攻隊という形で死地へ追いやったことへの反省はないのですか?

A 小泉総理と同様、全く無いですね。特攻という非道、非情な手段を命じたのは誰なのか、何故あの戦争がはじまり戦争指導者などどんな責任をとったのか、歴史についての認識なしに「美しい国へ」では困るのです。

Q 戦後体制から脱却し「新たな船出を」と主張されていますが、安倍さんの言う「戦後体制」とは何でしょうか? 言うまでも無く憲法でしょう。そして憲法と一体となっている教育基本法でしょう。

Q すると、新たな船出とは戦後の基本体制を変えるということですね。そうです。皆さんもご承知のように日本国憲法の柱は「平和主義」「国

民主権」「基本的人権の尊重」です。そしてこの体制からの脱却を、と言っているのです。



全国各地で講演する横路さん

Q つまり憲法改正を行うということですね。

A そうです。安倍さんは五年以内に憲法改正を実現することを政治的目標にされているのです。

Q いよいよ止念場ですね。

A そのとおりです。そして既にその方向に沿った発言が与党からなされているのです。

Q それはどういうことですか?

A 日本の平和主義の根本を揺るがす問題です。ひとつは核武装論です。非核三原則(核を作らず・持たず・持ち込ませず)は日本の確立した原則です。この原則のもとで議論するということは、どう理屈を付けても核武装論を含めてこの三原則を変えないことにはかなりません。許されないことです。もうひとつは、安倍さん自身が主張していることで「アメリカ防衛のために、アジアからアメリカに向かっているミサイルを日本の自衛隊が打ち落とすことが何とか出来ないものか」という点です。とんでも

ないことで、日本の自衛隊がアメリカのための軍隊になってしまします。これを集団的自衛権の行使というのです。

Q どうしてそんな考えになるのでしょうか?

A 安倍さんは「美しい国へ」の本の中で、アメリカの青年が日本の命を賭けるとき、双務性を高める為に日本の青年もアメリカの命を賭けるのは当然だ、という趣旨のことを主張されておられます。アメリカのために日本の青年が血を流すのが「美しい国」なのでしょう。憲法九条はしっかりと守らなければなりません。

Q 国民の権利ということでは言いますと、最近一日八時間週四〇時間という労働基準法の適用を外そうという意見が安倍政権のもとでされていますが...

A ひとつのものです。今でも世界一の長時間労働の国なのに、年収四百万以上のサラリーマンは休日労働・深夜労働をしても一日何時間働いても、超過勤務手当は支払わなくても良いことになるといわれています。過労死や過労自殺が増え、躁うつ病も急増しているのが日本の現実です。

Q それでも「美しい国」なのですか?

A 三〇代のサラリーマンの三〇%近い人が一日十二時間以上働いています。家族と一緒に夕食を食べるのは週二回が日本の平均です。こんな先進国ありますか? 安倍さんは「美しい自然や伝統を大切に、家族や地域社会を大切に、美しい国へ」とも言っています。しかし、家族を大切にすることは家族と共に過ごす時間が保障されなければなりません。ますます長時間労働にして家族を大切にと言っても無理ですね。

横路孝弘主な活動記録 (9月~12月)

「道外」

- 1日 [9月] 総理主催の衆参正副議長、議連委員長との懇談
- 4日 中国訪問現地調査(9/9まで)
- 4日 皇居 秋篠宮御即位祝儀
- 11日 皇太后陛下御即位祝儀
- 14日 皇太后陛下御即位祝儀
- 15日 皇太后陛下御即位祝儀
- 16日 皇太后陛下御即位祝儀
- 22日 皇太后陛下御即位祝儀
- 25日 皇太后陛下御即位祝儀
- 28日 皇太后陛下御即位祝儀
- 30日 皇太后陛下御即位祝儀
- 1日 皇太后陛下御即位祝儀
- 2日 皇太后陛下御即位祝儀
- 3日 皇太后陛下御即位祝儀
- 4日 皇太后陛下御即位祝儀
- 10日 皇太后陛下御即位祝儀
- 11日 皇太后陛下御即位祝儀
- 12日 皇太后陛下御即位祝儀
- 13日 皇太后陛下御即位祝儀
- 16日 皇太后陛下御即位祝儀
- 17日 皇太后陛下御即位祝儀
- 19日 皇太后陛下御即位祝儀
- 20日 皇太后陛下御即位祝儀
- 22日 皇太后陛下御即位祝儀
- 23日 皇太后陛下御即位祝儀
- 24日 皇太后陛下御即位祝儀
- 25日 皇太后陛下御即位祝儀
- 26日 皇太后陛下御即位祝儀
- 27日 皇太后陛下御即位祝儀
- 28日 皇太后陛下御即位祝儀
- 29日 皇太后陛下御即位祝儀
- 30日 皇太后陛下御即位祝儀



30日、衆議院の招待で来日されたフィンランド共和国国会議長一行

戦後の枠組みのもうひとつは教育ですが、戦後の新しい憲法にそつて昭和二十二年教育基本法が制定されました。これはやはり「戦前の反省の大きな柱として教育があった」ということですね。

戦前の教育勅語は「一旦緩急あれば義勇公に奉じ以つて天壤無窮の皇運を扶翼すべし」とあり、教育に関する事項は天皇大権のひとつであつて「国家生存のために臣民を国家的に養成すること」に目標がおかれていました。田中耕太郎文部大臣は「教育勅語のもつて教育が国家に奉仕することが目標とされ、教育が国家の奴隷になつた」と述べていますが、そこから脱出し新しい憲法に沿つた教育の目標を定めるために教育基本法が制定されたのです。

教育基本法の教育目的はどうなつていますか？

現行法(一条)教育の目標は「平和的な国家及び社会の形成者として真理と正義を愛し個人の価値を尊び勤労と責任を重んじ自主的精神を伸ばすこと」と人格の完成をめざすことを目標としています。

今回、教育基本法が強行採決され与党単独で変えられました。現行法の「真理と正義」以下の部分削除して「国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた国民の育成」と代わりました。つまり個人の権利や自由を大切にす代わり国家のために必要な資質の形成が教育の目標となり、「愛国心」などが強調されてくるのです。

教育の現場ではどうなつて行くのでしょうか？

「愛国心」などの徳目が並べられています。心の問題をどう教えてどう評価するのでしょうか？今後しっかり監視しなければいけません。イラクで人質となつた人の親が「自衛隊撤退」

を求め政府に反対したとして「反日分子」と言い「売国奴」という日本の空気ですからね。政府の政策を支持すれば愛国者、反対すれば売国奴だと評価されるものになつたら、日本の民主主義は死んでしまひます。



豊かな個性が生かされる教育を!

しかし、それにしても今の教育は多くの問題を抱えていますね。

問題点は家庭にも、学校にも、社会にも、文部科学省にもあります。最近のNEWSWEEKでジェームズ・フグナーさんが、高校の世界史未履修の問題について「日本の教育がどういふものが、ようやく誰かが理解できたろう。若者の視野を広げたり、より豊かな人生をもたらしなめるものではなく、社会に貢献できる市民を育てるものでもない。日本の教育の唯一の目的は子供たちに受験の準備をさせることである。」と述べています。まさにその通りですね。受験のためならルールを守らなくても良いという教育者たちが道徳を教えることが出来る訳がありません。社会全体のあり方を考え直さなくてはなりません。

フィンランドの教育が注目されていますが？

フィンランドの教育は「平等」と「公平」。教育の機会均等が大切にされ教師の質を高め、少人数学級で一人ひとりの子供に対応する教育になつており、OECDの評価では学力を含めて世界一です。

授業時間は日本より少なく、総合学習時間は主として「読書」などにあてています。夜は家族と一緒に週に5〜6回は食事をしており、親と子供のコミュニケーションも充分に行われているのです。

日本として学ぶことがありますね。「いじめ」とか「学力低下」とか「学級崩壊」などの要因も複雑ですね。

いじめや虐待は、相手の人権を尊重しないことから生じるのです。教育基本法は「自他共に敬愛すること」を目的としています。お互い人間として互いの人権を認めること、そのことが大切であるところ、その場も子供達に充分教えてこなかつたことを反省するべきです。

大人の社会の反映でもあるのです。

その通りです。問題は大人の社会のあり方にもあるのです。いじめられている子が家庭では親から虐待されていたり、いじめられていた子が自分より弱いものをいじめたり、動物をいじめたりしているのです。大人の社会では、リストラをすすめる会社が社員に対して行う「いじめ」も陰湿です。

授業中、先生の話の間かないで歩き回つたり、携帯電話で遊んだり学級崩壊が言われていますが...

先日、衆議院において河野議長から各党へ「議員は議席に座つて議論を聞くように」と注意されました。質疑中に議場内を歩き回つたり(なかには文部大臣経験者も)、新聞を広げたり、携帯電話でゲームをしたり子供を責める前に大人が手本をしめさなければなりません。

子供のモラルの低下や学習意欲がなくなつてきていることなど、教育基本法を変更する理由に挙げています。これも教育基本法とは関係ありません。バブル以後の日本は「正義、

平等、公正、勤労、努力」と言つた社会正義の観念がなくなつてしまつたのです。マネーゲームが横行したのがすべて。社会にしまつたのは誰なのか、大人が子供に「何が大切なのか」を教えられなくなつていふのです。

最近「早寝早起朝ごはん」と言われていますが...

家庭でのしつけ、家庭環境も大切です。夜十時以後に就寝する就学前の子供が30%、朝ごはんを食べない中学生が20%、夕食を家族そろつて食べるのは週2日、つまり「早寝早起朝ごはん」を実行するだけで子供の成績が良くなつたというケースが報告されているのです。やはり、しつけの基本は家庭ですね、家庭を再生させなければならぬのです。

話は変わりますが、夕張市への仕打ちもひどいですね。

夕張市再建のためとは言いながら「夕張は日本一貧しく暮らさなければならぬ」というのが安倍政権と高橋道政です。勿論、市政にも大きな責任はあるのです。しかし、市民に対してそのために、公衆トイレは全部やめ、老人ホームも図書館も廃止、十二校ある小中学校はそれぞれ一校とする。バスで病院に通う高齢者への低額バスも廃止。水道料や市営住宅の家賃も大幅アップ。戦前、戦後日本の発展に尽くしてきた産地への「いじめ」と「みせしめ」の何ものでもありません。

いすれにしても、ムードだけで充分な議論の無いまま右へ右へと流れている日本。私も決意新たに努力して行きたいと、新しい年を迎えました。

- 11月 日本弁護士連合会と朝食会
- 2日 東京都自治体議員団講演
- 6日 DPJ日本会議来訪
- 7日 秋の園遊会
- 8日 駐日カナダ大使主催レセプション日本
- 9日 カナダ友好議員連盟レセプション
- 13日 生保労働政策研究会
- 14日 元議員招待パーティー
- 15日 北海道国会議員団・道議との懇親会
- 20日 新嘗祭(皇居)
- 23日 参議院議員ちは景子20周年記念の集い
- 24日 インドネシア大統領、宮中晩餐会
- 27日 平和フォーラムから要請
- 28日 日本経済新聞社創立100周年記念小宴
- 1日 前参議院議員(後援会総会 横浜)
- 4日 私鉄交通政策議員懇話会(後援会)
- 5日 横路孝弘東京後援会忘年会
- 18日

道内

- 1日 北海道消防職員協議会結成30周年記念祝賀会(札幌)
- 6日 新創会ゴルフコンペ
- 10日 北海道消防職員協議会結成30周年記念祝賀会(札幌)
- 9日 道下大樹後援会発足準備会(西区)
- 19日



7日、横路孝弘連合後援会秋の集い(札幌)

- 9日 歯科医師の方々と懇談
- 28日 網走地区憲法集会(網走市)
- 11月 札幌ゆうばり会(札幌)
- 4日 中央区街頭宣伝
- 6日
- 12月 新創会横路夫婦を囲む忘年会(札幌)
- 1日
- 8日 横路孝弘後援会望年会(札幌)
- 9日 H18年「七の会」総会・懇親会(札幌)



2日、道下大樹後援会発足総会・激励会(西区)で道下さんを応援する横路、上田市長、西本道議

横路さん中国を訪問!! 日中友好をすすめる アジアと世界の平和を

中日友好協会から招聘を受けた横路さんは、今後の日中関係、六者協議再開の見通し、経済交流、中国全土における旧日本軍の遺棄化学兵器問題の調査などを目的に、衆議院横路孝弘副議長訪中団として9月4日から9日迄、生方幸夫前衆議院議員(千葉6区)小林千代美前衆議院議員(北海道5区)など総員9名で北京市、昆明市、広州市の各地を訪問しました。



9月5日 釣魚台で武大偉(外交部副部長)と会談する。

北京市では、許嘉璐さん(全人代副委員長)と、靖国参拜、歴史認識問題の今後について、譚家林さん(中国共産党中央対外連絡部日本部部长補佐)とは、日本の次期政権の政策と日中関係について、宋健さん(中日友好協会会長)とは、中日友好を絆としてのアジア平和交流について会談し、多岐にわたる意見交換がなされました。武大偉さん(外交部副部長)からは、最近の中国外交と日本外交について、特に朝鮮半島情勢と米朝外交の関連を踏まえながら六者協議再開交渉に

ついて、苦勞されている現状を聞きました。崔立如さん(中国現代国際関係研究院院長)とは、中国現代国際関係研究院の所員の方々を交え、小泉外交と日中関係、朝鮮半島情勢、中国経済発展とアジア諸国との経済交流などについて意見交換をいたしました。

今なお恐ろしい 旧日本軍の遺棄化学兵器

横路訪中団一行は、広州市の中心から約30km、珠江川の河口近くの番禺区蓮花山地区に案内され、外交部化学兵器問題辨公室の担当者から説明を受けた。

住民の身近にある遺棄弾

旧日本軍の遺棄弾の多くは吉林省で発見されているが、広州市と周辺で現在確認されている未処理弾は6ヶ所7弾で、そのうち蓮花山地区では3ヶ所4弾が確認されている。その一つは小船が係留されている船着場の一角で発見され、現在は金網で囲われ赤色灯で注意を促している。引き潮の際には見えるという。この現場では、2004年に遺棄弾が爆発し住民3人が負傷した。その後の調査により番禺区全体で281発の未処理弾が発掘・処理された。

遺棄化学兵器問題とは

化学兵器は第一次世界大戦で本格的に使用され10万人以上の死者を出したことを通じて、その凄惨な被害が知られるようになり、1925年に化学兵器と生物兵器を戦争で使用することを禁止する国際条約(ジュネーブ議定書)が締結された。しかし、

旧日本軍はこの条約に反して中国に大量の化学兵器を持ち込み使用した。旧日本軍は国際条約違反が発覚するのを恐れ河川・湖沼に投棄したり、地中に隠したりしたため、戦後60年を経た今も処理が進まず、住民への被害が絶えないという事態を招いている。

子供にも被害が

2003年に黒龍江省で、びらん剤入りのドラム缶が掘り出された時には、子供5人をふくむ44人が被害を受けた。被害者は猛烈な皮膚の痛み、目の痛み、吐き気などに襲われ一人が死亡した。日本の外務省によると吉林省だけでも少なくとも30万発から40万発が埋設しており、「全ての埋設地を特定するのは困難で、今後も発見される可能性がある」という。

早急な処理を

日本政府は中国側の要請に基づき1991年に第一回の現地調査を行った。その後、1997年に化学兵器禁止条約が発効したことに伴い日本は中国に遺棄してきた化学兵器の処理について道義的責任だけでなく、国際条約上も処理の義務を負うこととなった。1999年、日中間で「遺棄化学兵器の廃棄に関する覚書」を交わし2000年から、ようやく発掘・回収を始めた。2006年度は177億円をかけて処理にあたっては、これまでに発掘・処理された遺棄弾は3万7000発に過ぎない。

調査を終えた横路さんは「戦争は一度起きてしまえば、これほどにも長い間人々を苦しめ続ける。日本が中国の人々に与えてしまった苦痛と被害の大きさを改めて心に刻んだ。日本政府は責任を持って早急な発掘・処理に取り組んで行かなければならない」と話している。

外国からのお客様をお迎えするのは大事な公務

横路さんは衆議院副議長として各国から来られる多くの要人の方々と懇談され、日本の国会と相手国の議会や多岐にわたる現状を話し合い、平和を基調とした外交・友好交流の促進に努めています。

9月28日、中華人民共和国建国70周年祝賀レセプションに出席、王毅中国大使などと、先般(9月4日)9日)中国を訪問したことや今後の日中関係について話し合いました。

10月12日、衆参両院の招待で訪日されたモンゲラ全アフリカ議会議長をお迎えして、懇談致しました。全アフリカ議会は、アフリカ大陸にある53の国が加盟しているアフリカ連合(AU)の議会組織で、アフリカ各国の国会議員によって構成されています。アフリカの置かれた現状は、残念ながら厳しいものです。貧困、エイズ、そして絶え間ない紛争にアフリカの人々は苦しめられています。全アフリカ議会の活動を通じて、少しでもアフリカの国々の民主化が進み、人々の生活が向上することを願っています。

10月23日、中米のエルサルバドルからサカ大統領をお迎えして、懇談いたしました。エルサルバドルは、私が今年観た「イノセント・ボイス12歳の戦場」というメキシコ映画の舞台となつた所です。実話に基づく映画で、貧富の格差の拡大が原因となつて内戦の続いていたエルサルバドルでは、12歳で政府軍に徴兵されるのが、そして反政府軍には同じ村の少年が兵士となつていて、少年同士が銃撃戦を繰り広げるのです。幸いなことに、エルサルバドルは内戦が平和裏に終結して今年で15年経ちます。旧ゲリラ組織は合法政党化され、平和と民主主義が定着しています。大統領も治安対策の推進、教育・雇用対策の実施によって、平和な国づくりを推進



12月6日、副議長公邸で、来日中のアティヤ・イラク国民議会副議長一行の敬訪問を受け、イラク情勢について突っ込んで意見交換を致しました。現在のイラクの情勢はアメリカのコミンタシと形容するほど深刻な状況にあります。アティヤは先の中選挙の民意を受ける

していることを力説しておられました。大統領との意見交換を通じて、改めて平和の尊さを痛感するとともに、格差問題から決して目をそむけてはならないと確信しました。

10月30日、衆議院の招待でフィンランド議長一行が来日されました。昨年は、私がフィンランド議会の招待を受け公式訪問し、リッポン議長にお会いしましたが、今回はその返礼で衆議院がフィンランド議長一行を公式招待しました。



横路と結婚した次の年に、父横路節雄が突然亡くなった。当時、私は大学院の学生、夫は司法修習生で、生まれたばかりの長男と埼玉県浦和のアパート暮らしだった。

突然伴侶を亡くした母の嘆きは深く、若くて慰めるすべも知らなかった私たちは、赤ん坊がいれば気の紛れることもあるかと長男を連れて札幌の母のもとにやってきた。

それ以来、四十年殆どの年月を一緒に苦楽をともしてきた。思えば九州の自分の母と暮らした年月の倍以上である。

横路がその三年後、衆議院選挙に出ることになってからは、嫁姑といふより文字どおり同志であったと言つてよい。たくさんのことを教え助けてもらい一番の応援者であつてくれた。

三人の孫たちともオセロやトランプに興じ、クラブ活動で「帰りが遅い」となりあつてもみんな「おばあちゃん大好き」に育ってくれた。

母が作ってくれた料理はとても美味しかったし、お正月の「おでん」は米寿の年まで、自分が先頭に立たなければ気が済まなかった。選挙関係ばかりでなく日中友好協会や同窓会のことでも何事もいい加減にできない質であった。

そんな母が、米寿を過ぎた頃から、異常に物事にこだわったり不安がったりし始めた。

主治医の先生からは「もう充分動いてこれたのだから、無理しないで、年齢と折りあつて気持ちをゆつたりされると不安感がなくなりますよ」と言われていた。私が出かけるとなると「何時に帰るか、

何の用事が」と細かに問いただし、出先にも頻りに電話をかけてくる。テレビで報じられる事件や事故が、自分や自分の家族にも降りかかるか如く心配する。そのうち、「頼まれた原稿が書けない」と言つてうつ状態になり、せつなく孫やひ孫を交えてジーンズスカンを食べに行つたなどと誘つても「行きたくない」と言つたようになった。

何十回も引き出しやバッグを開けたり閉めたり、洋服の着方が分からなくなつたりして私を驚かせた。

春に尻餅をついて背中を圧迫骨折、三週間の入院を余儀なくされてから幻覚が起るようになり、家で看えていても気の休まる時が無くなった。

眠るのも母のベッドの近くに押し、風呂も子供達の小さい時にしたように、ま



愛しき母よ

横路 由美子

私が裸のまま母に寝間着を着せるといふ手順になった。

どうしても私が家を空けなければならぬ時は、近くに住む四番目の弟夫婦や埼玉から三番目の弟夫婦に泊りに来てもらつた。

こうして外に向けては、二つ三つを除いて大きな破綻もなく過ぎてきたのだが、珍しく十月七日横路後援会の「秋の集い」に出ると言ふ。参加者からバラの花束を戴いたりして「機嫌で無事大役を果たし、私たちもほっとした。

次の日の夜、風呂から上がった母がぐたりしている。長湯のせいで血糖値が下がつたのかと思ひ蜂蜜を舐めさせ、夫と二人がかりでベッドに寝かせた。

次の朝、いつものように起こして着替えをさせて朝ご飯となつたが、どうもお箸の持ち方がおかしい。ご飯もおかずも

箸にかからない。スプーンに持ち替えても同じ。そのうち周りを見て数人の客がいるが如く皆様もどうぞ遠慮せず召し上がれと言つてゐる。午後になると一段と幻覚幻聴がひどくなり、一人で座談会を取り仕切つてゐる模様である。はつきりとした口調で「まず、ご高齢の方からどうぞ」若い方ご発言を「赤ちゃんを連れて石狩からいらしたの?」などと一時間でも立ちつばなしである。

病院に連れて行き頭部のCTを撮ると、広範囲に脳内出血が見られ直ちに入院となつた。

それから約一カ月、薬を使ったにもかかわらず夜中でもその行動はおさまらず、弟たちの助けも借りて二十四時間看護体制をつくり、母の夢や思い出に付き合つた。

母の記憶は主として二つの時期に限

られ、結婚前の思春期の時代と、十年くらい前の中国旅行や選挙に関わる行動や発言がみられた。

戦前、大学生の軍事教練に反対し、治安維持法の初めての適用で逮捕された実兄のことを野呂栄太郎は破廉恥罪で捕まつたわけではありませぬ。私たち姉妹はうつむかず凛として暮らさなければなりませんと言つたり、小学校の教師時代のことだろつが職員会議を開いていらしく「子供には愛情が必要ですよ。この案に賛成の方は?」と言つたり、まるで何幕もの劇を見るようであった。

それでいて毎日そばについている私や弟夫婦のことをボランティアさんとかあなた様とか先生とか呼んだりした。病院の皆さんは昼夜を問わず、母は勿論のこと私たち家族を励まし支えて、本

当に良くして下さいました。しかし病院は、

他の患者さんに迷惑をかけられないので母の行動を抑止せざるを得ない。これ以上病院に置くことは母に酷と判断し、倒れる寸前の私と母の状況を見て、兄弟たち皆で話し合つてくれて、当面、専門のグループホームのお世話になることになった。

介護の責任者の方がまず睡眠薬から脱却しましょう。私たちはいつも徹夜で見ていますから。そうしたら足もフラフラしなくなる生活能力もついてきま

すよと言つてくれて本当に有り難いと思つた。

一歩一歩自分の世界を作ろうとして

いる母。私を慕わしい人と感じながらも私を忘れていく母。限りなく母は愛しい。どんなに周りから慰められても私は自分の力不足が悲しく、専門家から「一番いい療養のありかたです」と言われても涙が溢れてくる。

病人に接する看護師さんやヘルパーさん達の働きを身近に見て、充分に休息できる労働条件が整つてなければ、子供を育てながら働くのも、自ら健康を保つのも、人に対して心から優しくできるのも、超人的な努力が要ることを痛感した。

介護の社会化が言われて久しいが、職場や家庭を問わず介護人をサポートする制度の充実、特に夜間に働く人達の手厚い人員の配置は、弱い立場に立つ介護される人にとつても火急の課題である。

また、これまで以上に少子高齢社会が進み、「老々介護」や「ひとり暮らしの老人世帯」が増える中、療養型のベッド数を減らすことや、在宅介護が一番と言つような価値観だけでは対処できないと思ふ。人の老い方には共通項もたくさんあるけれど、極めて「個性的」でもあると言つておこを、今しみじみと感じている。

全国各地で講演活動

横路さんは、全国の各地や団体から「日本の現状」や「憲法」についての講演依頼が多数あり、日程の調整のつく限り要望にこたえて、精力的に講演活動を進めています。

日本の良さを失つた5年間政権交替で取り戻そう。9月14日、全たはこニオングループで現在の日本の社会状況について、9月16日には奈良県王寺町で「小泉内閣5年間を斬る」というテーマで講演をしました。この5年間の小泉内閣はGDPが拡大したにもかかわらず、倒産や失業は回避されず、国民の暮らしや社会状況は悪化し、企業利益は拡大したが、家計は苦しく、階層の格差は拡大し、そして階層の固定化がすすみ、日本の良さを失つた5年間である。現状を打開するためには、政権交代が必要であると強調し、今後行われる各種選挙では、是非民主

現憲法の良さを広め、世界平和を。9月15日奈良県立橿原市で「日本国憲法について」、10月28日には網走市で「日本国憲法が誕生した経緯や世界の憲法と日本国憲法の違い、憲法9条の意義、憲法改正のねらい、そして憲法改正を行うための「国民投票法案等について述べ」参加者の皆さんが地域や職場で日本国憲法の良さを広め、理解を深めてもらうことが大事であると強調し、憲法改正阻止のため全国的運動を展開してほしいと訴えました。

横路孝弘さんを囲む麻雀大会

◎とき/2月4日(日) 12:00~

◎ところ/麻雀夢道場 (中央区南2西5 食栄ビル2F)

◎会費/4,000円

参加ご希望の方は横路事務所(TEL233-2331)までご連絡下さい。



2007年 頑張る仲間の新春メッセージ

札幌市長 ^{う え だ ふ み お} 上田文雄



この4年間、多くの仲間を支えていただいて「文化と誇りあふれるまちづくり」に邁進することができました。

市政世論調査によりますと、札幌を好きな市民の割合は97.3%にも上があります。こんなに多くの市民に愛されている札幌のかじ取りを委ねられていることをこの上なく光榮に感じています。

これからも、札幌がもつと元氣あふれるまちになるために皆様と共に全力で頑張ります。

衆議院議員 ^{あ ら い} 荒井さとし



この4年間の北海道は、「効率」優先の小泉構造改革の影響で、財政、経済、雇用は悪化し、そして様々な格差と削減により、道民生活は厳しく深刻な状況に追い込まれています。これら喫緊の課題に対して道政のリーダーは、体を張って道民・市町村のために取り組んでいかなければなりません。北海道がもつと元氣になるために、共に頑張ります。

西 区



^{み ち し た} ^{だ い き}
道下 大樹
西区選出 道議会議員
候補予定者(新)

横路代議士の秘書として学び、経験させて頂いたことを活かし、「平和な社会の中で安心して働き暮らすことができ本当に良かった」と誰もが共感できる北海道をみんなで一緒につくりたい！汗水流して全力で頑張りたい！という決意に燃えています。

南 区



^{は や し} ^{た い き}
林 大記
南区選出 道議会議員
(現)

地方自治を土台に、人々の共生と安定の社会、平和を生み出す社会を基盤としてこそ「継続可能な経済発展」があるのです。皆様と共に健全な北海道をめざし、地方自立の道政ビジョンを持って国政と結び、安心の社会を創りだす決意です。

中 央 区



^{だ ん さ か} ^{し げ み}
だんざか 繁美
中央区選出 道議会議員
(現)

北海道は今、福祉や医療・教育など地域で暮らしていくために必要な最低限の基盤が崩れています。道政はこれを無視し、地域じりめ住民いじめを続けています。民主党・道民連合議長会長として「夢のある北海道作り」に努力し、道政に奪還に向けて頑張ります。



^{お お し ま}
大島 かおる
西区選出 市議会議員
(現)

民主党・市民連合幹事長として上田市長を全力で支えてきました。転換期にある札幌のまちづくり。地域に住む一人ひとりが政治の主人公として「おしきせ」「おまかせ」「ぶらさがり」ではなく「公正」「人権」をもとに「市民自治」が息づくまちづくりを進めます。



^{て る お}
いのくま 輝夫
南区選出 市議会議員
(現)

いま最も力を入れるべき課題は雇用の確保です。経済という木の幹をつくり枝葉を広げる力は製造業であり、しっかり育てて雇用を吸収することが大切です。今度は7期目に挑戦し、上田市政をしっかり支え、共にまちづくりを進めます。初心を忘れず更に頑張ります。



^{ふ じ か わ}
藤川 まさし
中央区選出 市議会議員
(現)

上田市長の政策「まちづくりの主体は市民である」ことを実現する「自治基本条例」ができました。今後は、市民がまちづくりに参加しやすい仕組みづくりが大切です。市民と市政の架け橋として、誰もが安心して暮らせる札幌市となるよう全力で頑張ります。



^{さ と う} ^{ゆ き}
さとう 右司
西区選出 市議会議員
候補予定者(新)

核家族化や高齢社会が進む今こそ、みんなが「知恵と力と優しさ」を共有し、地域の「協力社会の再生」を実現させる事が大切であると考えます。この様な政治目標の実現をめざし、自分が歩んできた人生・社会経験を地域の為に全力を尽くし燃焼させる決意です。



^{み や け} ^{ゆ み}
みやけ 由美
南区選出 市議会議員
(現)

初当選以来4年間、微力ではありますが上田市政を支え「市民が主役の市政」の実現に取り組んで参りました。特に南区では新しい体制の「まちづくりセンター」を拠点に地域活動が活発になっていきます。私も経験を生かし「パワーアップ」して2期目に挑戦です。



^{は せ が わ} ^{ま も る}
はせがわ 衛
中央区選出 市議会議員
候補予定者(新)

この4年間、地域の会合や朝の街頭演説で多くの市民の皆さんとの直接対話を通じて市政に対する貴重な意見や提言を頂きました。少子高齢社会が進む中で、教育と福祉は最重要課題です。32年間の教員経験を生かし、「子供の笑顔が輝く街」を目指して頑張ります。